

教科名	国語	科	科目名	現代の国語 ■必修 □選択	学年	1 年	単位数	2
-----	----	---	-----	------------------	----	-----	-----	---

使用教科書 副教材 等	新編 現代の国語 (数研出版)	使用教室	HR 教室
----------------	-----------------	------	-------

学習の 目標	実社会に必要な国語の知識・技能を身につけ、論理的かつ想像力豊かに他者と伝え合う力を高め、言葉の持つ価値への認識を深めながら、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。
-----------	---

評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ()	
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用することができている。
		b	思考・判断・ 表現 論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけている。
		c	主体的に学習 に取り組む 態度 言葉の持つ価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。			

学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法	
				項目	a・b・c
1	4	【書き手の意図をつかむ】(5)	【書き手の意図をつかむ】優れた評論文を読み、さまざまな考えに触れる。また、論理的な文章を読み解くことによって文章の組み立てや展開の仕方を習得する。【読むこと】	■定期考査	a b
	5	【書き手の意図をつかむ】(5)	【書き手の意図をつかむ】わかりやすく話すことを目標に、相手に伝わるように話す工夫をする。【話すこと・聞くこと】	■小テスト	a
	6	【文章の展開を把握する】(7)	【文章の展開を把握する】具体例を手がかりに、文章を解釈しまとめる力を習得する。【読むこと】	■ノート	b c
	7	【文章の展開を把握する】(7)	【文章の展開を把握する】メモをとりながら話を聞くことを目標に、相手の話を注意深く聞き要点を押さえる力を習得する。【話すこと・聞くこと】	■振り返りシート	b c
				□作品	
				■パフォーマンス課題	b c
				□その他	()
2	9	【コミュニケーションと言葉】(5)	【コミュニケーションと言葉】優れた評論文を読み、さまざまな考えに触れる。また、論理的な文章を読み解くことによって文章の組み立てや展開の仕方を習得する。【読むこと】	■定期考査	a b
	10	【コミュニケーションと言葉】(8)	【コミュニケーションと言葉】用件を適切に伝える技術を学び、実生活に役立てる。【書くこと】	■小テスト	a
	11	【日常の中の文章】(8)	【日常の中の文章】ある物事について、正確に伝える力を身につける。【書くこと】	■ノート	b c
	12	【言葉の働きをとらえる】(3)	【言葉の働きをとらえる】日本語の語彙がたどってきた変化を知り、現代日本語の特性を理解する。【読むこと】	■振り返りシート	b c
				□作品	
				■パフォーマンス課題	b c
				□その他	()
3	1	【書き手の考えを比較する】(7)	【書き手の考えを比較する】読み手が必要とする情報をわかりやすく提示する工夫を学ぶ。【書くこと】	■定期考査	a b
	2	【根拠を読み取る】(6)	【根拠を読み取る】目的に応じて情報を聞き取り、その情報を整理する力を身につける。【話すこと・聞くこと】	■小テスト	a
	3	【社会の中の文章】(7)	【社会の中の文章】自分の提案を受け入れてもらうために、説得力のある企画書を書く力を身につける。【書くこと】	■ノート	b c
				■振り返りシート	b c
				□作品	
				■パフォーマンス課題	b c
				□その他	()

担当者からのメッセージ (学習方法など)

定期考査はもちろんのこと、普段の授業の中で行う小テストや授業内での課題(提出物)にしっかりと取り組みましょう。

教科名	国語	科	科目名	言語文化 ■必修 □選択	学年	1 年	単位数	2	
使用教科書 副教材 等	新編 言語文化(数研出版)				使用教室	HR 教室			
学習の 目標	社会生活に必要な国語の知識・技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的かつ想像力豊かに他者と伝え合う力を高め、言葉の持つ価値への認識を深めながら、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。								
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ()							
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めそれを活用することができる。					
		b	思考・判断・ 表現	論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけている。					
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	言葉の持つ価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。					
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1～10の10段階) にまとめます。									
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法					
				項目		a・b・c			
1	4	【地域の「ことば】 (5)	【地域の「ことば】】口語で書かれた文章を読み、方言を知ることで我が国の言語文化に対する理解を深める。【読むこと】	■定期考査	a	b			
	■小テスト			a					
	5	【古文の世界を楽しむ】(15)	【古文の世界を楽しむ】文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。【読むこと】	■ノート	b	c			
6	■振り返りシート			b	c				
7	【詩歌を味わう】(4)	【詩歌を味わう】我が国の伝統と文化に関する詩歌を読み、我が国の言語文化への理解を深める。【読むこと】	□作品						
				■パフォーマンス課題	b	c			
				□その他	()				
2	9	【現代にも生きる 教え】(6)	【現代にも生きる教え】文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。【読むこと】	□定期考査	a	b			
	■小テスト			a					
	10	【受け継がれる古 典】(10)	【受け継がれる古典】古典作品から影響を受けた近現代の小説があることを知り、その表現から我が国の言語文化に対する理解を深める。【読むこと】	■ノート	b	c			
	11			■振り返りシート	b	c			
12	【昔と変わらない 人の心】(5)	【昔と変わらない人の心】古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解し、内容を理解する。【読むこと】	□作品						
		【日本語の中に生 きる漢文】(5)	【日本語の中に生きる漢文】我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、広いものの見方を学ぶ。訓読の決まりを理解する。【読むこと】	■パフォーマンス課題	b	c			
				□その他	()				
3	1	【和歌が創り出す 世界】(10)	【和歌が創り出す世界】文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。【読むこと】	■定期考査	a	b			
	■小テスト			a					
	2	【和歌が創り出す 世界】(10)	【和歌が創り出す世界】和歌を解釈し、訳者の工夫と、訳による世界観の違いを感じ取る。【書くこと】	■ノート	b	c			
3	■振り返りシート			b	c				
				□作品					
				■パフォーマンス課題	b	c			
				□その他	()				
担当者からのメッセージ (学習方法など)									
定期考査はもちろんのこと、普段の授業の中で行う小テストや授業内での課題(提出物)にしっかりと取り組みましょう。									

教科名	国語科	科目名	国語表現 ■必修 □選択	学年	2年	単位数	2
使用教科書 副教材等	国語表現 (大修館書店)			使用教室	HR教室		
学習の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する 資質・ 能力を育成することを目指す。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ()					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用することができている。			
		b	思考・判断・ 表現	論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、深く共感したり、 豊かに想像したりする力を身につけている。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わ ろうとする態度を養っている。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a	b	c
1	4	【1. 言葉と出会う】 (8) 【表現への扉①】(8) 【2. 伝える・伝え合 う】(8)	【1. 言葉と出会う】 練習問題を通して、日本語を正 しく表記する力を付ける。【書くこと】 【表現への扉①】 身近な言葉を見直すことで自分の考 えを表現するために必要な語彙を増やし、実際に使う ことを通して語彙を豊かにする。【書くこと】 【2. 伝える、伝え合う】 自己紹介や身近な情報を集め ることを通して「話す」「聞く」「書く」の基礎を身 につけ、自分の考えが的確に伝わるよう工夫する方法 を学ぶ。【話すこと・聞くこと】	■定期考査	a	b	c
	■小テスト			a	b	c	
	■ノート			a	b	c	
■振り返りシート	b	c					
■作品	a	b	c				
■パフォーマンス課題	a	b	c				
□その他	()						
2	9	【表現への扉②】(4)	【表現への扉②】 日常生活において言葉で伝え合うことの難 しさを知り、よりよい伝え方について考える。【話すこと・ 聞くこと】 【3. 小論文・レポートを書く】 自分の思いや考えを明確に し、根拠となる情報を基に的確に説明し、端的に述べる技 術を学ぶ。【書くこと】 【表現への扉③】 データを的確に用いることを通して、自分 の主張に客観性と根拠を持たせる技術を身につける。【書く こと】 【4. 自己PRと面接】 自分自身を見つめ直し、自分の思いや考 えを広げたり深めたりするとともに、社会で生かせるコミュニ ケーション力を身につける。【話すこと・聞くこと】	■定期考査	a	b	c
	10	【3. 小論文・レポート を書く】(8)		■小テスト	a	b	c
	11	【表現への扉③】(8)		■ノート	a	b	c
	12	【4. 自己PRと面接】(6)		■振り返りシート	b	c	
■作品	a	b	c				
■パフォーマンス課題	a	b	c				
□その他	()						
3	1	【5. メディアを駆使する】 (15) 【6. 会話・議論・発 表】(5)	【5. メディアを駆使する】 目的や相手に応じて適切なメディアを選 んだり情報収集のためのネット活用術について知ったりする ことを通して、メディアリテラシーを身につける。【書くこと】 【会話・議論・発表】 聴衆に対して声かけしたり話し合いの目 的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするた めの議論や討論を行う技術を身につける。また、設定した題 材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表 資料にまとめ、聴衆に対して説明する力を身につける。【話 すこと・聞くこと】	■定期考査	a	b	c
	2			■小テスト	a	b	c
	3			■ノート	a	b	c
■振り返りシート	b	c					
■作品	a	b	c				
■パフォーマンス課題	a	b	c				
□その他	()						
定期考査はもちろんのこと、毎時間毎時間の授業への主体的な取り組みや、提出物が大事になります。 しっかりと取り組みましょう。							

教科名	国 語 科	科目名	国語表現 ■必修 □選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	国語表現 (大修館書店)			使用教室	HR教室		
学習の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する 資質・能力を育成することを目指す。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ()					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用することができる。			
		b	思考・判断・ 表現	論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、深く共感したり、 豊かに想像したりする力を身につけている。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わ ろうとする態度を養っている。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a	b	c
1	4	【表現を楽しむ】	【表現を楽しむ1】 多種多様な言葉遊びに触れ、言葉で表現する楽し さを味わいながら、日本語の魅力を知る。【書くこと】 【表現を楽しむ1】 (4) 【表現を楽しむ3】 日常生活の中から題材を選び、説明書を書く活動 をとおして、説明書の文体や構成上の特徴をつかむ。【書くこと】 【表現を楽しむ3】 (4) 【表現を楽しむ4】 学校生活における諸行事や授業における学習内容 を、構成・内容を考えてポスターとして作成する。【書くこと】 【表現を楽しむ4】 (8) 【表現を楽しむ5】 効果的な文章表現や写真・図版などの視覚資料を適 切に使い、読み手を引きつけるパンフレットを作る。【書くこと】	■定期考査	a	b	c
	5	【表現を楽しむ1】 (4)		■小テスト	a	b	c
	6	【表現を楽しむ3】 (4)		■ノート	a	b	c
	7	【表現を楽しむ4】 (8)		■振り返りシート	b	c	
	7	【表現を楽しむ5】 (8)		■作品	a	b	c
2	9	【表現を楽しむ6】 (15)	【表現を楽しむ6】 就きたい職業や、興味をもっている 仕事に携わっている人に、直接インタビューをして聞 いた話を文章にまとめる。【話すこと・聞くこと】 【表現を楽しむ8】 国語辞典の特徴を理解し、「クラ スの国語辞典」に載せたい言葉を選んで的確な説明を 書く。【書くこと】 【表現を楽しむ10】 様々なエッセイを参考にしなが ら、題材を集め、読み手を楽しませるようなエッセイ を書く。【書くこと】	■定期考査	a	b	c
	10	【表現を楽しむ8】 (3)		■小テスト	a	b	c
	11	【表現を楽しむ10】 (8)		■ノート	a	b	c
	12	【表現を楽しむ10】 (8)		■振り返りシート	b	c	
3	1	【表現を楽しむ10】 (13)	【表現を楽しむ10】 様々なエッセイを参考にしなが ら、題材を集め、読み手を楽しませるようなエッセイ を書く。【書くこと】 【付録：敬語のまとめ】 (7) 【付録：敬語のまとめ】 進学・就職に向け、高校生が 身につけておくべき敬語のまとめをとおして総復習を 行う。【話すこと・聞くこと】	■作品	a	b	c
	2	【付録：敬語のまとめ】 (7)		■パフォーマンス課題	a	b	c
	3	【付録：敬語のまとめ】 (7)		□その他	()		
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
定期考査はもちろんのこと、毎時間毎時間の授業への主体的な取り組みや、提出物が大事になります。 しっかりと取り組みましょう。							